

2月2日(土)より企画展

『郷土玩具展く旅した土地の玩具たち』開催

「市民の手による企画展」として、市内在住の奥隆行氏が長年にわたって旅先で集められた、日本各地の郷土玩具約600点を展示いたします。

郷土玩具は、その土地の文化をもとにして生みだされ、生活風俗や習慣などと密接な結びつきがあります。たとえば名馬の産地であった東北地方には、青森の「八幡駒」、福島「三春駒」、宮城の「木ノ下駒」など馬の玩具が多くみられます。また青森の「ねぶた祭り」や岩手の「チャグチャグ馬コ」のように、祭りなどの催事にちなんで作られた玩具もあります。

これらの玩具はおもに土、木、竹、わら、紙、布、糸など身近な材料を用いて、手作りで製作されていますが、張りや土人形、練り物、薬人形、竹人形、木製品、凧など、さまざまな種類があります。

人形類は大きさも小さきまざり、色彩もたいへん豊かで、その地方独特の表情や服装をしています。また動かして遊ぶことのできるものも多く、中にはごく簡単な仕組みながら、電気やぜんまい仕掛けのおもちゃに劣らない、大変おもしろい動き方をするものもあります。かつては、どこの家にもいくつかはあった、そして、誰もが遊んだ記憶のある、なつかしい郷土玩具をお楽しみください。

◆山梨県の郷土玩具◆

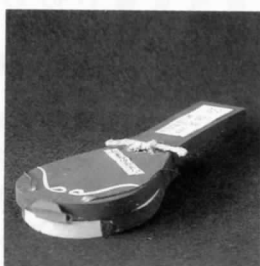
国中地方では、養蚕が盛んだったので、上簇(蚕がよく成長して、繭を作らせるために簇に入れること)がよいことを祈って、「起上がり」がよいように神棚に張子のだるまを飾る風習があり、「白だるま」「親子だるま」「甲陽金だるま」などが伝えられています。

昇仙峡の金桜神社で授与されている「虫切り鈴」は、子どもの寝ている部屋の天井に吊り下げておくと、疳の虫が切れる(治る)といわれています。

その他、塩山市の「鳩笛」、一宮の「おみゆきさん」などが伝えられています。



はちまんこま 八幡駒 (青森県)



うづま 巴波おしゃもじなまず (栃木県)



申込・問合せ

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45) 86008
☎(45) 86008



さわらほりこ 佐原張子 (千葉県)



平和祈念像

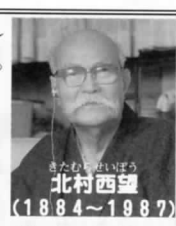
今年度の第2回「市民の手による企画展」は、彫刻家北村西望の作品を所蔵する西望ファンが中心になり開催します。北村西望は長崎の平和公園正面にある「平和祈念像」制作者として著名ですが、今回の展示会では、彫刻とともに多くのファンを魅了する西望の書画を併せて展示し、その幅広い世界に触れていただきたいと思います。

3月2日(土)〜24日(日)

幼少のころから図工が好きで个性的で大胆な作品を作り、常に周囲を驚かしていた。京都市立美術学校(現在の京都市立芸術大学)、東京美術学校(現在の東京芸術大学)を主席で卒業後、建畠大夢、朝倉文夫らと彫刻の研究会「八手会」を結成し、彫刻の道を歩む。

大正6年文展に出品した「光にうたれる悪魔」で知られるようになり、昭和13年には国会議事堂内に設置してある「板垣退助翁」像を制作した。戦後になって長崎市の依頼により製作した「平和祈念像」は西望の代表作のひとつである。

昭和62年3月4日没 享年104歳。



北村西望 (1884~1987) 明治17年12月16日、旧名家であった北村家の四男として長崎県南高来郡南有馬村に生まれる。

次回企画展

市民の手による企画展

「北村西望 彫刻と書画展」

「郷土玩具づくり教室」

「なつかしいおもちゃをつくろう!」

「郷土玩具展」の関連イベントとして、甲府市在住の民芸作家、斎藤岳南氏の実演指導による「郷土玩具づくり教室」を開催いたします。昔ながらのおもちゃとして誰もが知っている、あのなつかしい「でんでん太鼓」を作ってみよう。

日時 2月10日(日) 午後1時30分〜3時
場所 ミュージアム都留 エントランスホール
参加費 500円(材料費)